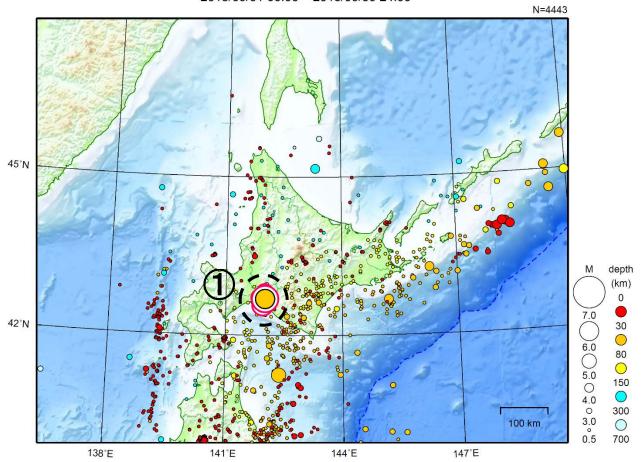
北海道地方

2018/09/01 00:00 ~ 2018/09/30 24:00



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

① 9月6日に胆振地方中東部で M6.7 の地震(最大震度 7) が発生した。6日以降、ほぼ同じ場所で最大震度 4以上を観測する地震が18回発生した。

(上記期間外)

10月1日以降、「平成30年北海道胆振東部地震」の活動域では、最大震度4以上を観測する地震が4回発生した。

[上述の地震は M6.0以上または最大震度 4以上、陸域で M4.5以上かつ最大震度 3以上、海域で M5.0以上かつ最大震度 3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

「平成30年北海道胆振東部地震」

(1) 概要

2018年9月6日03時07分に胆振地方中東部の深さ37kmでM6.7の地震が発生し、北海道厚真町で震度7、北海道安平町、むかわ町で震度6強を観測したほか、北海道から中部地方の一部にかけて震度6弱~1を観測した。気象庁はこの地震に対して、最初の地震波の検知から7.3秒後の03時08分12.6秒に緊急地震速報(警報)を発表した。この地震は地殻内で発生し、発震機構(CMT解)は東北東一西南西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。その後、この地震の震源を含む南北約30kmの領域を中心に地震が発生している。今回の地震の発生以降の地震活動は、過去に国内の内陸や沿岸で発生した同程度かそれ以上の規模の地震に比べてやや活発である(図2-10参照)。

この地震により、死者 41 人、負傷者 691 人、住家全壊 394 棟、住家半壊 1,016 棟などの被害を生じた (10 月 5 日 18 時 00 分現在、総務省消防庁による)。

気象庁は、この地震について、その名称を「平成30年北海道胆振東部地震」と定めた。

札幌管区気象台、室蘭地方気象台及び旭川地方気象台は、震度5強以上を観測した震度観測点及びその周辺を中心に気象庁機動調査班(JMA-MOT)等を派遣し、震度観測点の観測環境が地震によって変化していないかどうかの確認、震度観測点周辺の被害や揺れの状況が気象庁震度階級関連解説表と整合が取れているかの確認のため、被害状況調査を実施した。また、地方公共団体の防災対応を支援するため、札幌管区気象台、仙台管区気象台、名古屋地方気象台及び前橋地方気象台は北海道庁、室蘭地方気象台は胆振総合振興局に気象庁防災対応支援チーム(JETT)を派遣した。

「平成30年北海道胆振東部地震」による被害状況を表1-1に、震度1以上の最大震度別地震回数表を表1-2に示す。

表 1 - 1 「平成 30 年北海道胆振東部地震」による被害状況 (2018 年 10 月 5 日 18 時 00 分現在、総務省消防庁による)

	人的	□ 被 害	!	住 家	:被害	非住家			
都道府県名	死者	負係	易者	全壊	半壊	一部	公共	その他	火災
	%11	重傷 軽傷		主场	十场	破損	建物	ての他	
	人	人	人	棟	棟	棟	棟	棟	件
	41		674	394	1, 016	7, 555		2, 110	
	札幌市 1			札幌市 57					
	苫小牧市 2			江別市 1					
北海道	厚真町 36			千歳市 1					2
11. 海坦	むかわ町 1		北広島市 14	1,010	7, 333		۷, ۱۱۷	2	
	新ひだか町 1			厚真町 192					
				安平町 107					
				むかわ町 22					

表 1 - 2 震度 1 以上の最大震度別地震回数表(2018年9月6日03時~10月9日09時)

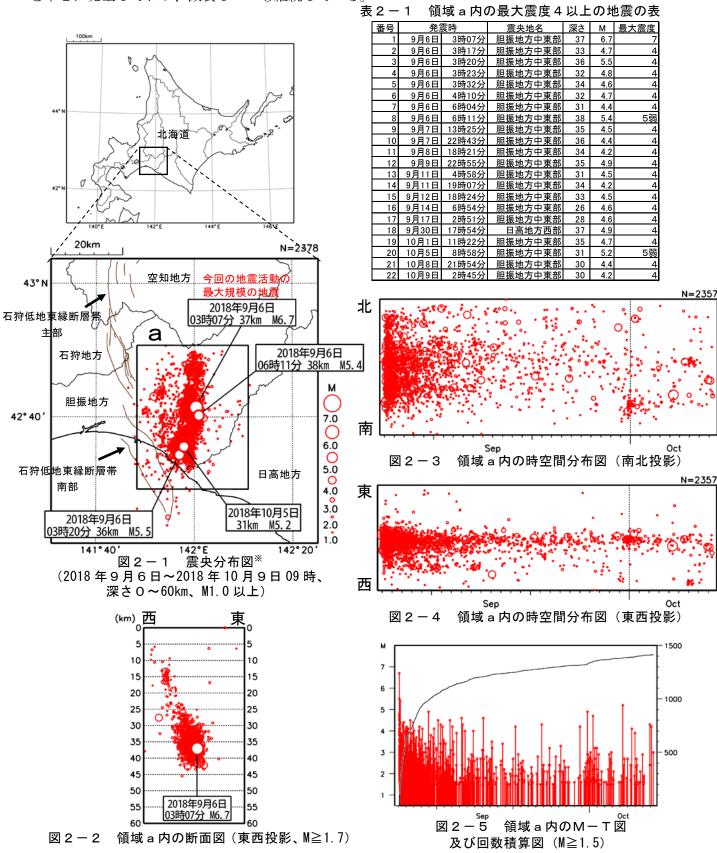
時間帯	最大震度別回数								震度1以上を 観測した回数 時間帯		最大震度別回数							震度1以上を 観測した回数			
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	7	回数	累計		1	2	3	4	5弱	5強	6弱	7	回数	累計
9月6日 03時以降	72	34	16	6	1			1	130	130	9月23日									0	265
9月7日	22	8	7	2					39	169	9月24日		1	1						2	267
9月8日	10	9	1	1					21	190	9月25日	1								1	268
9月9日	13	3		1					17	207	9月26日	1								1	269
9月10日	7	6	1						14	221	9月27日	1	1							2	271
9月11日	3	4	1	2					10	231	9月28日	1								1	272
9月12日	3	2		1					6	237	9月29日			1						1	273
9月13日		1	2						3	240	9月30日	3			1					4	277
9月14日			2	1					3	243	10月1日	5			1					6	283
9月15日	3	3							6	249	10月2日	1								1	284
9月16日	3								3	252	10月3日	2								2	286
9月17日	4			1					5	257	10月4日									0	286
9月18日		2							2	259	10月5日	3				1				4	290
9月19日	1	1							2	261	10月6日		1	1						2	292
9月20日	Ü		·				·		0	261	10月7日	3	•		,					3	295
9月21日	2		1						3	264	10月8日				1					1	296
9月22日	1								1	265	10月9日 09時まで	2			1					3	299
											総計	167	76	34	19	2	0	0	1	299	299

(2) 地震活動

ア、地震の発生場所の詳細及び地震の発生状況

2018年9月6日03時07分に、胆振地方中東部の深さ37kmでM6.7の地震(最大震度7)が発生 した

この地震の発生以降、地震活動が非常に活発になり、同日 06 時 11 分にこの地震の震央付近の深さ 38km で M5.4 の地震(最大震度 5 弱)が発生するなど、10 月 9 日 09 時までに M4.0 以上の地震が 51 回、最大震度 4 以上の地震が 22 回発生している。地震活動は、南北方向に延びる長さ約 30km の領域を中心に発生しており、減衰しつつも継続している。



※10月8日以降の震源は精査前の震源です。10月9日の震源には、自動処理による結果を含みます。

イ. 発震機構

1997年10月1日から2018年9月6日までに発生したM4.0以上の地震の発震機構を図2-6に示す。周辺で発生する地殻内の地震は、今回の地震活動を除くと数は少ないものの、発震機構がほぼ東西方向に圧力軸を持つ型が多い。2018年9月6日以降に発生したM4.0以上の地震の発震機構を図2-7に示す。今回の地震活動で発生したM4.0以上の地震の発震機構は、ほぼ東西方向に圧力軸を持つ型であり、これまでの活動と調和的であった。

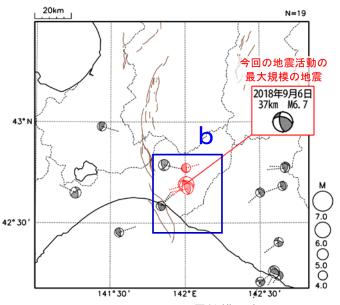


図2-6 発震機構分布図 (1997年10月1日~2018年9月6日、 深さ0~60km、M≥4.0)

2018年9月6日の地震の発震機構を赤く示す。シンボルから伸びる点線は圧力軸の方位を示す。図中の細線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

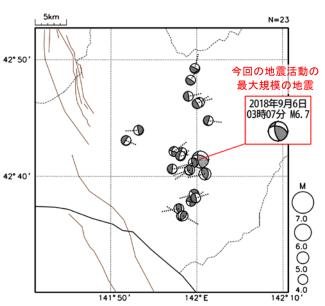


図2-7 領域 b 内の発震機構分布図 (2018年9月6日~9月30日、 深さ0~60km、M≥4.0)

シンボルから伸びる点線は圧力軸の方位を示す。 図中の細線は地震調査研究推進本部の長期評価による 活断層を示す。

ウ. 過去の地震活動

1923 年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域 c) では、これまで M5.0 以上の地震が時々発生している。今回の地震の震央付近では、2017 年 7 月 1 日に M5.1 の地震が発生し、重傷 1 人の被害が生じた(総務省消防庁による)。また、今回の地震の震央から南東に約 80km 離れた領域では、「昭和 57 年(1982 年)浦河沖地震」が発生し、負傷者 167 人などの被害が生じた(「日本被害地震総覧」による)。

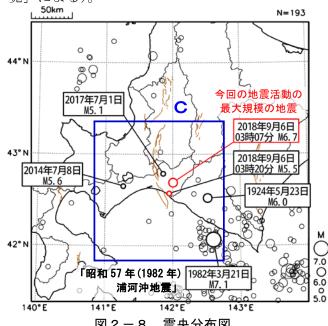


図2-8 震央分布図 (1923年1月1日~2018年9月30日、 深さ0~50km、M≥5.0) 2018年9月の地震を赤く表示

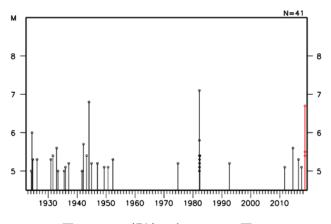


図2-9 領域 c内のM-T図

震央分布図中の茶色の線は、地震調査研究推進本部の 長期評価による活断層を示す。

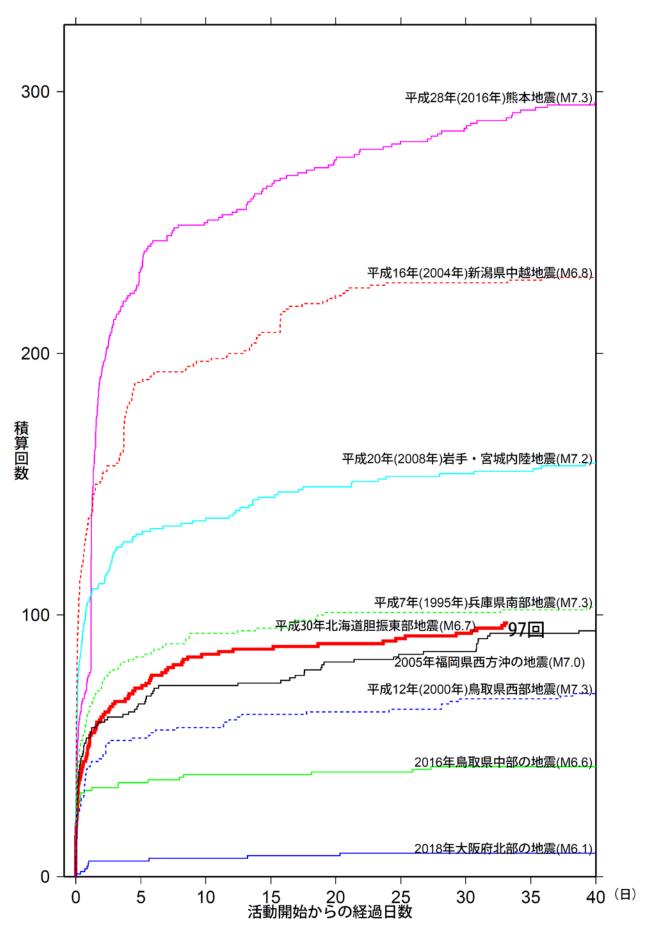


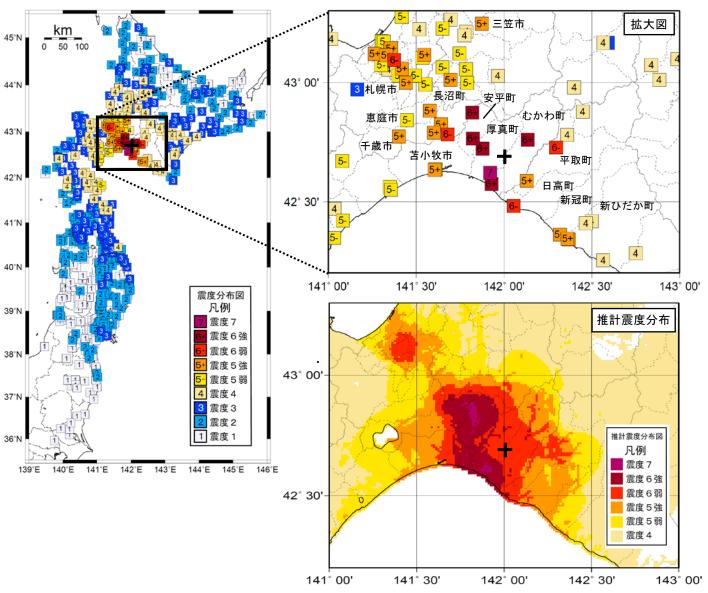
図 2 - 10 内陸及び沿岸で発生した主な地震の地震回数比較(M≥3.5、10 月 9 日 09 時 00 分現在) マグニチュードは最大のものを示す。 「平成 30 年北海道胆振東部地震」は、9 月 6 日 03 時 07 分の地震からの経過日数及び積算回数を示す

(3) 震度と加速度

最大規模の地震である2018年9月6日03時07分の地震により震央付近の北海道厚真町鹿沼で震度7、北海道厚真町京町、安平町早来北進、安平町追分柏が丘、むかわ町松風、むかわ町穂別で震度6強の揺れを観測した。

ア. 最大規模の地震の震度

最大規模の地震の震度分布図を図3-1に示す。



<推計震度分布図について>

地震の際に観測される震度は、ごく近い場所でも地盤の違いなどにより1階級程度異なることがある。また、このほか震度を推計する際にも誤差が含まれるため、推計された震度と実際の震度が1階級程度ずれることがある。 このため、個々のメッシュの位置や震度の値ではなく、大きな震度の面的な広がり具合とその形状に着目して利用されたい。 なお、この推計震度分布図は震度の精査後に再作成したものであり、地震発生直後に発表したものとは一部異なる。

図3-1 「平成30年北海道胆振東部地震」(M6.7、深さ37km、最大震度7)の震度分布図及び推計 震度分布図(+印は震央を表す。) 地震発生直後に発表した震度データに加え、その後入手した震度データも用いて作成

イ. 計測震度、加速度

「平成30年北海道胆振東部地震」により震度5弱以上を観測した震度観測点の計測震度及び最大化速度を表3-1に示す。

表3-1 「平成30年北海道胆振東部地震」の計測震度および最大加速度(震度5弱以上)

				計測・	最	震央			
都道府県	市区町村	観測点名	震度	震度	合成	南北 成分	東西 成分	上下 成分	距離 (km)
北海道	厚真町	厚真町鹿沼	7	6.5	967.3	647.5	837.6	326.1	10.4
北海道	安平町	安平町早来北進*	6強	6.4	711.9	555.4	667.5	396.2	16.8
北海道	安平町	安平町追分柏が丘*	6強	6.4	1795.7	1003.0	906.7	1590.9	25.0
北海道	むかわ町	むかわ町松風*	6強	6.4	662.0	387.7	662.0	335.0	14.5
北海道	むかわ町	むかわ町穂別*	6強	6.1	773.5	600.3	741.1	203.5	13.1
北海道	厚真町	厚真町京町*	6強	6.0	461.9	285.3	368.0	455.7	10.8
北海道	札幌市東区	札幌東区元町*	6弱	5.9	663.9	640.3	282.2	106.7	67.9
北海道	平取町	平取町振内*	6弱	5.9	737.8	565.1	672.9	344.0	24.4
北海道	日高地方日高町	日高地方日高町門別*	6弱	5.6	373.8	252.0	372.2	320.2	23.8
北海道	千歳市	新千歳空港	6弱	5.5	501.3	468.8	324.0	360.1	28.3
北海道	札幌市白石区	札幌白石区北郷*	5強	5.4	309.0	300.1	263.9	81.6	62.5
北海道	札幌市北区	札幌北区新琴似*	5強	5.3	222.2	174.7	164.0	88.2	72.0
北海道	千歳市	千歳市若草*	5強	5.3	451.0	320.0	353.8	448.5	34.5
北海道	新冠町	新冠町北星町*	5強	5.3	248.1	242.8	199.2	55.0	45.0
北海道	新ひだか町	新ひだか町静内山手町	5強	5.3	220.4	158.2	217.1	43.0	48.7
北海道	札幌市北区	札幌北区篠路*	5強	5.2	197.0	172.1	157.3	57.4	72.5
北海道	千歳市	千歳市北栄	5強	5.2	376.2	374.1	232.9	252.9	33.0
北海道	千歳市	千歳市支笏湖温泉*	5強	5.2	586.6	384.0	559.4	325.3	49.9
北海道	苫小牧市	苫小牧市旭町*	5強	5.2	391.7	369.1	325.8	125.9	33.1
北海道	江別市	江別市緑町*	5強	5.1	277.7	247.6	237.8	117.3	60.0
北海道	札幌市清田区	札幌清田区平岡*	5強	5.1	277.8	242.7	159.2	81.3	57.0
北海道	恵庭市	恵庭市京町 *	5強	5.1	321.1	298.5	293.7	230.5	40.5
北海道	平取町	平取町本町*	5強	5.1	356.7	276.2	348.5	113.2	15.7
北海道	札幌市北区	札幌北区太平*	5強	5.0	168.7	142.6	153.5	68.1	72.6
北海道	札幌市手稲区	札幌手稲区前田*	5強	5.0	187.4	139.8	169.8	42.3	76.6
北海道	三笠市	三笠市幸町*	5強	5.0	246.4	157.5	241.7	77.1	62.3
北海道	長沼町	長沼町中央*	5強	5.0	193.9	162.2	135.2	101.2	43.3
北海道	新ひだか町	新ひだか町静内御幸町*	5強	5.0	201.8	137.6	179.7	41.2	49.3
北海道	石狩市	石狩市花川	5弱	4.9	137.9	134.3	83.1	35.1	77.2
北海道	札幌市厚別区	札幌厚別区もみじ台*	5弱	4.9	247.3	246.6	185.2	81.0	55.9
北海道	南幌町	南幌町栄町*	5弱	4.9	178.6	130.7	172.2	92.3	50.2
北海道	由仁町	由仁町新光*	5弱	4.9	631.0	559.9	355.4	120.0	38.1
北海道	苫小牧市	苫小牧市末広町	5弱	4.9	291.6	216.0	270.8	116.9	32.5
北海道	登別市	登別市桜木町*	5弱	4.9	355.0	268.8	351.1	166.4	81.3
北海道	石狩市	石狩市聚富	5弱	4.8	223.6	201.2	202.7	56.7	80.4
北海道	新篠津村	新篠津村第47線*	5弱	4.8	178.1	132.5	144.0	100.3	65.8
北海道	江別市	江別市高砂町	5弱	4.8	241.2	233.9	219.0	96.6	59.4
北海道	栗山町	栗山町松風*	5弱	4.8	195.6	164.6	191.4	72.1	44.1
北海道	札幌市豊平区	札幌豊平区月寒東*	5弱	4.7	150.6	145.0	109.7	126.2	61.8
北海道	北広島市	北広島市共栄*	5弱	4.7	205.7	199.1	176.6	107.3	49.6
北海道	白老町	白老町大町	5弱	4.7	189.6	151.6	174.3	147.0	55.3
北海道	石狩市	石狩市花畔*	5弱	4.6	113.0	110.1	79.7	54.5	77.9
北海道	恵庭市	恵庭市漁平	5弱	4.6	125.9	101.9	92.4	87.4	48.4
北海道	函館市	函館市新浜町*	5弱	4.6	134.0	111.7	105.8	64.7	119.0
北海道	胆振伊達市	胆振伊達市大滝区本町*	5弱	4.6	186.4	171.4	158.8	71.8	75.6
北海道	札幌市西区	札幌西区琴似*	5弱	4.5	135.0	131.1	88.5	66.2	71.2
北海道	岩見沢市	岩見沢市栗沢町東本町*	5弱	4.5	153.6	149.0	134.1	61.3	52.0
北海道	室蘭市	室蘭市寿町*	5弱	4.5	159.9	157.2	138.9	69.8	88.4
北海道	白老町	白老町緑丘*	5弱	4.5	206.3	155.3	168.5	127.4	55.4

観測点名の*印は、地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点を示す。